



兵庫協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2026 **10**



講演会の様子



こくみん共済 coop 兵庫推進本部
事業推進部 姫路支所 支所長（防災士）
本田 泰幸氏

9月11日災害対策委員会にて防災士であるこくみん共済 coop 兵庫推進本部の本田泰幸氏より『「今」の選択があなたの家族の未来をかえる～「今日」から始める防災・減災活動～』と題してご講演いただきました。家具の固定や備蓄、避難所対策など平時からの備えの大切さを学びました。

異なる分野の生協の委員9名から成る「災害対策委員会」。
会員生協の災害対策関連情報の共有・意見交換や、行政関係先との連携などに取り組んでいます。





甲南大学生生活協同組合・神戸薬科大学生生活協同組合・
甲南女子大学生生活協同組合
専務理事

金保 吉郎
(かなほ・よしろう)

組合員の大学生生活を もっと豊かに、 地域とともに未来を創る

このたび、甲南大学生生活協同組合・神戸薬科大学生生活協同組合・甲南女子大学生生活協同組合の専務理事に就任いたしました、金保と申します。これまで甲南女子大学生生活協同組合の専務理事として培ってきた経験を生かし、それぞれに歴史と特色を持つ三大学で、学生・教職員の皆様のキャンパスライフを支える重責を担うことになり、身が引き締まる思いであります。

私たちが掲げる最大のビジョンは、「組合員の大学での生活をもっと豊かにする」ということです。大学生生活協同組合は、単なる書籍や飲食の提供といった福利厚生生の枠組みにとどまりません。講義や研究に励む日々のなかにあって、仲間と語らい、新しい挑戦に出会い、人間的な成長を実感できる時間と空間を創出することこそが、私たちの存在意義だと確信しています。

2026年は物価上昇や人手不足が続き、特に食料品やエネルギーなど生活に身近な分野の価格動向が、家計や日々の暮らしに影響を与えています。世界に目を向けても、中東情勢をはじめとする地政学的な緊張、エネルギー価格や国際経済の不確実性など、私たちの暮らしにもつながる課題が続いています。その一方で、AIをはじめとするデジタル技術は急速に発展し、社会や産業だけでなく、大学での学びや働き方にも大きな変化をもたらしています。

学生を取り巻く環境も大きく変化し、多様な価値観やニーズが生まれています。こうした時代だからこそ、私たちは組合員一人ひとりの声にこれまで以上に耳を傾け、「今、学生に何が必要なのか」「生協だからこそできることは何か」を考え続け、組合員一人ひとりの声に真摯に寄り添い、キャンパスライフの質的向上に努めなければなりません。

緑豊かなキャンパスで学生が主体的な学びや活動に取り組む甲南大学。そして将来の医療人を志し、高度な専門知識の修得と研究に挑む神戸薬科大学。それぞれの大学が持つ文化や特色を大切にしながら、食生活、学び、健康、交流など、さまざまな面から学生生活を支えてまいります。同時に、大学の皆様との対話をより一層大切に、大学と生協がともに学生の成長を支える関係を築いていきたいと思っています。

さらに、これまで専務理事を務めてきた甲南女子大学生生活協同組合が設立30周年を迎えるにあたり、これまでの歩みで培った協同の精神と絆を改めて深く噛み締めてまいります。この確かな歴史を受け継ぎつつ、兵庫県という地域社会との連携を深め、新たな価値の創造に挑戦し続けます。職員・パートアルバイト一同と一丸となって取り組んでまいりますので、皆様の温かいご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

CONTENTS

2. 想点

3. 協同まるわかりツアーを開催！
第2回 虹の仲間づくりカレッジ開催

4. 協同組合のかけ橋

5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓

6. 2026年度 兵庫県生協大会／県連行事予定／編集後記

協同まるわかりツアーを開催！

兵庫 JCC では、9月15日に「協同まるわかりツアー」を開催しました。このツアーは、「協同組合を知り協同組合のことを伝えられる体験型の企画」として開催しています。

今回は、大学生3名が主体となって企画・運営に携わり、企画会議にも参加し、何度も話し合いを重ねながら、一緒に「協同まるわかりツアー」をつくり上げました。当日は、大学生10名、スタッフ9名、オブザーバー3名の計22名が参加しました。

最初に、兵庫県三木市にある「株式会社コープエコファーム」を訪問し、水島社長より取り組みについて説明を受けた後、さつまいもの収穫体験を行いました。昼食には、新鮮な野菜を使った窯焼きピザを参加者で作り、楽しく味わいました。

午後からは、生協、農協、漁協、森林組合から、それぞれの協同組合の理念や事業・活動について紹介をしました。その後、企画・運営に携わった大学生3名が考案したクイズ大会を行い、楽しみながら協同組合について学びました。

続いて、同じ三木市にある「大栄環境株式会社三木リサイクルセンター」を訪問し、食品リサイクルルールについて学びました。

企画・運営に携わった大学生からは、「イベントをつくる側の難しさや工夫についても学ぶことがき、非常に貴重な体験となりました」「次回も、企画・運営に携わりたい！」などの声が聞かれました。

大学生自身が考え、話し合い、つくり上げた「協同まるわかりツアー」は、若い世代が協同組合を知り、協同することの楽しさを感じる機会となりました。



さつまいもの収穫体験



ピザ作り体験



ワークショップの様子

— 参加大学生の感想 —

- 一度にたくさんの協同組合の方々からの話を聞く機会は貴重でした。
- 大学生を対象にした企画で参加しやすかったです。
- 協同組合という大学生協くらいしか知らなかったもので、他の協同組合についても知ることができ、身近に感じることで良い経験になりました。

第2回 虹の仲間づくりカレッジ開催

9月17日、神戸商工貿易センタービルにて第2回虹の仲間づくりカレッジを開催しました。今回は、午前課題の実践に向けた計画の作成を行いました。午後から実践計画の発表、参加者同士でコメントすることで、計画のブラッシュアップを行いました。今後、具体的な実践に向けた活動がスタートします。

実践報告会は、2027年2月22日です。



グループワークの様子



コミュニケーションゲーム



実践計画の発表

協同組合のかけ橋

JF

JF 但馬地区漁青連

但馬漁協津居山・香住青壮年部 「少年少女水産教室」

但馬漁協津居山青壮年部と香住青壮年部では、地元
の基幹産業である漁業の魅力や重要性について、地域
の子どもたちに知ってもらうことを目的として、地元
小学生を対象に「少年少女水産教室」を開催しました。

津居山青壮年部では7月24日に兵庫県の漁業調査
船「たじま」を使用し、香住青壮年部では7月31日に
県立香住高等学校の実習船「但州丸」を使用して、底
曳網漁業の体験を行いました。普段なかなか乗ること
のできない漁船に各地区の参加者は興味津々の様子
で、船内見学や、漁獲された魚に触れたりするなど、
楽しみながら漁業について学んでいました。

また、香住地区では、漁協女性部による地元水産物
を使用した手作り弁当を味わった後、ジオパークと海
の文化館の館長と職員の方々の指導のもと、水産加工
体験として「ちくわ作り」に挑戦しました。その後、
館内を見学し、水産業と地域の産業を学んだ後、但馬
水産事務所 吉川副主任、渡邊主事によるお魚の講話
を聞き、参加者は魚や漁業についてより関心を深めて
いる様子でした。多くの体験や学習を通して、充実し
た水産教室となり、盛況のうちに終了しました。

今後もこの活動を継続し、漁業の魅力や水産業の重
要性について理解を深めてもらう機会を提供していき
ます。また、こうした体験を通じて、地元漁業への関
心を高め、将来の漁業を担う後継者の育成や、地元水
産物の魅力を知ってもらうことによる魚食普及にもつ
ながっていきたいと考えています。



たじま船内（津居山）



お魚の講話の様子
（香住）



水産加工体験
（ちくわ作り）
（香住）

JA

JA たじまピーマン協議会

会長 霜倉 和典氏

会内や関係機関との密接な連携で、 ピーマンの一大産地をつくる

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にス
ポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り
組み、メンバーの意気込み等を紹介します！

Q1. 協議会の成り立ちについて教えてください

豊岡市では、昭和45年からピーマンの栽培に取り
組んできました。出荷量と品質を確保し、地域の代
表的な作物として生産するためには、但馬地域全体
で一体となって栽培する必要があると考えていまし
た。そこで、平成13年のJAの広域合併を契機に、
たじまピーマン協議会を設立しました。

Q2. 意識していることaについて教えてください

品質の高いピーマンを作り続けるためには、本
協議会内で「仲間意識とライバル心を持つ」ことが
重要であると考えています。そこで本協議会では、
年に一度、地区で最も良いピーマンを栽培する生
産者を決めるコンテストを実施しています。コンテ
スト後は、会員同士が互いに助言しあい、切磋琢磨し
ながら栽培技術と品質の維持・向上につなげています。

Q3. 特徴的な取り組みについて教えてください

本協議会では、近年の猛暑により、年々、作業負
担が大きくなっていった水やりを自動化できるかん水
装置の導入を推進してきましたが、高額な初期費用
が課題となり生産者は購入が困難でした。そこで、
JA たじまの助成に加えて令和6年よりJA全農兵
庫・JA たじまと連携し、JA タウンで販売したたじ
まピーマンの売上金額の一部を積み立て、かん水装
置の導入費用に役立てる取り組みを開始しました。

Q4. 現在、力を入れている取り組みについて教えてください

本協議会では、昨年、一部の農家でハウス栽培の
実証を開始しました。露地栽培に比べて雨風や虫害
を防げるだけでなく収穫期間が2か月程度延びたこ
とで収量の増加にもつながっています。今後さらに
規模を拡大し、産地の持続的な発展につなげたいと
考えています。

Q5. 今後の目標について教えてください

産地を継承しさらに拡大していくためには、将来
を担う若手 生産者の育成が不可欠であると考えて
います。そこで、50歳以下の農家で構成する本協議
会の青年女性部の活動を一層活発にし、若い世代の
発想や意見を積極的に本協議会の運営へ取り入れる
ことで、産地全体の活性化につなげていきたいと考
えています。





令和8年度 消費生活講座

参加
無料

AIとの上手な付き合い方

～便利さ・リスク・ウソをつく理由～



10/27 (火)
14:00～15:30

会場：県立消費生活総合センター
消費生活情報プラザ

兵庫県立大学 大学院工学研究科
准教授

森本 雅和 氏

〈講師プロフィール〉

大阪大学大学院にて博士号（工学）を取得後、姫路工業大学助手を経て現在に至る。AIがパンの種類を判別する世界初の画像識別レジシステム「Bakery Scan」を開発。現在も様々な画像認識システムの開発に取り組んでいる。

もう身近にあるAI。安心して賢く使いこなすための注意点を、AI画像認識の研究・開発の専門家から学びましょう。



会場参加申込
見逃し配信あり



Zoom 参加申込

申込み方法

兵庫県在住・在勤・在学の方

会場参加 兵庫県立消費生活総合センター 先着30名

- ①電話：☎ 078-302-4001（平日10時～17時）
- ②申込サイト：右の**会場参加申込**からお申し込み下さい。

オンライン参加 Zoom ウェビナーでの視聴 先着200名

- ①申込サイト：上記の**Zoom 参加申込**からお申し込みください。
- ②Zoom ウェビナー招待メールが届きます。当日、参加リンク部分をクリックしてご参加ください。
※申込後、数時間たっても招待メールが届かない場合は、下記までお電話でお問い合わせください。
- ③**見逃し配信：10/27(火) 17:00～10/30(金) 24:00**

ご登録いただいた個人情報は、講座の運営管理にのみ使用いたします。

お問合せ：〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-2

兵庫県立消費生活総合センター 消費生活情報プラザ TEL：078-302-4001（平日10時～17時）

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

シルバーウィークという大型連休はいつからできたのでしょうか。少なくとも、私が学生時代にはなかったような気がしています。とはいえ、今年の連休には大雨の被害もあり、災害に見舞われた地域もありました。一日も早い復旧を祈るばかりです。

さて、ひょうご消費者ネットの最近の活動をお話しましょう。当団体は事業者に対し、不当な行為をやめるよう求める申入れ・差止め請求活動などを行っています。今回は少額短期保険に関する申入れ活動を紹介したいと思います。みなさま、「少額短期保険」というのをご存知でしょうか。少額短期保険とは、保険期間が1年又は2年以内の短期で、保険金額が少額なものを主に言います。今回、問題と考えた「葬儀保険」です。低廉な保険料で葬儀代等の備えができるものとして広告されていますが、一旦加入すると、毎年、拒絶をしない限り自動更新がなされることになり、保険金が一定の場合には高齢になるほど保険料の額が多くなり、保険料が一定の場合には高齢になるほど保険金額が低くなっていく仕組みになっています。どのような点が問題かということは次回に続けたいと思います。

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目4-7 ニューブ神戸 306号室
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com



MOVE

2026年度 兵庫県生協大会

協同の力で未来をつくる

～SDGs 達成に向けた地域との共創・

平和で持続可能な地域社会づくりへの貢献～

とき 2026年10月22日(木)
12:00～16:00

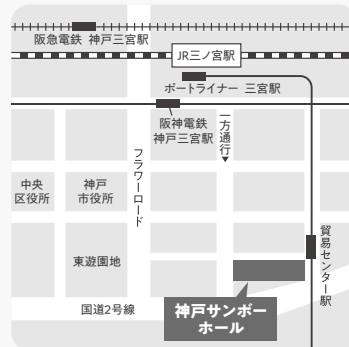
ところ 神戸サンボーホール

- ・ポートライナー「貿易センター駅」下車すぐ(三ノ宮駅から徒歩1分)
- ・各線「三ノ宮駅」から徒歩約15分

申し込み 各生協・団体にお申し込みください

※参加証の送付はありません

入場料
無料



第1部

記念式典

13:00～14:00

- 主催者あいさつ
兵庫県生協連会長理事
- 来賓ごあいさつ
兵庫県知事 神戸市長
兵庫県議会議長

- 来賓紹介
- 生協功労者表彰
兵庫県知事感謝
兵庫県生協連会長表彰

巡って知ろう!! ブース展示

12:00～12:50 / 14:00～14:50

- 生協のこだわり紹介 試食あり
- 安全運転適性診断器で運転診断
- VRゴーグルでの災害疑似体験
- 通常のりと色落ちのりの食比べ

などなど

※試食食品などは無くなり次第終了です。ご了承ください。

10を超える
団体が出展!

ひょうご
まるごと健康
チャレンジ
健康チェック



第2部

ステージ(講演&落語)

14:50～

笑いと健康

～人と人のつながりが
人生を豊かにする～

講師 かつら さん しろう
桂 三四郎



1982年生まれ、兵庫県出身。2004年に六代 桂文枝師匠(当時・桂三枝)に入門。古典落語、創作落語ともに研鑽を積み、天満天神繁昌亭など定期的に出演。さらにはテレビ、ラジオ、芝居と活動の幅を広げている。また、「笑いと健康」「コミュニケーション術」などをテーマとした講演や学校芸術鑑賞会が好評。2020年上方落語若手噺家グランプリ優勝。「落語家に学ぶコミュニケーション術」「思いやりの心が商売繁盛の秘訣」「ユーモアが心を豊かにする」などの講演活動も好評で、特に学校公演などで高い評価を得ている。創作落語の評価も高く、企業からの依頼やシンポジウムのテーマに沿ったオリジナルの創作落語の制作も行っている。

主催/兵庫県生活協同組合連合会

神戸市中央区浜辺通5丁目1-14
神戸商工貿易センタービル13F TEL.078-894-3207

※諸般の事情により、やむを得ず中止、または内容を変更する場合があります。

※悪天候による交通状況で中止する場合は、当日朝9時に
兵庫県生活協同組合連合会ホームページに掲載いたします。

兵庫県生活協同組合連合会

検索

編集後記

8月29日、「つどい場バンブー」で開催された「第2弾山口町でメンマを食べよう」に参加しました。

今回は、5月2日に開催された第1弾で塩漬けにしたメンマが、その後どうなったのかを楽しみに参加。味付けメンマ、メンマペロンパスタ、メンマおこわなど、さまざまな料理をいただきました。

私たちは、味付けメンマとメンマペロンパスタづくりに挑戦。食わず嫌いの娘と一緒に参加したのですが、どの料理も「おいしい!」と喜んで食べていました。親子で楽しく竹に親しむ、貴重な体験となりました。

竹は成長が早く、放置すると周囲の樹木を侵食するなど、地域の環境にも影響を及ぼすことを知りました。食べることをきっかけに、身近な地域の課題について考えることができ

たのも、良かったと思います。これからも、こうした取り組みが続いていくことを願っています。

(後内)

県連行事予定

10月5日	第3回理事会
10月8日	緊急通行車両担当者会議
10月13日	ピースアクション2026 舞鶴引揚
10月15日	記念館&舞鶴赤れんがパーク訪問
10月16日	第2回監事会
10月19日	近畿地区生協府県連協議会
10月22日	協同組合研究・交流会
	2026年度兵庫県生協大会